

クリニカルインディケータ

1 病院全体の指標					
指標項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
延べ入院・外来患者数 平均在院日数 病床利用率（運用病床）	90,182 人	87,819 人	81,322 人	延べ入院患者数：退院患者数+当日末在院患者数	1年間の延べ入院患者及び1年間の延べ外来患者の数です。
	113,741 人	103,964 人	110,316 人	延べ外来患者数：初診患者数+再診患者数	
	15.1 日	14.5 日	11.7 日	平均在院日数：延在院患者数÷(新入院患者数+退院患者数)÷2 ※重急性期病床を除く	1人の患者さんが平均何日間入院しているのかを示す指標です。地域の医療機関と連携などによって、短期間で退院できるよう努めています。
	(一般) 82.5 %	(一般) 80.2 %	(一般) 74.3 %	病床利用率：延入院患者数÷延運用病床数×100 (医療法上の区分)	病床利用率とは運用病床数に対し、入院患者がどのくらいの割合で入院していたかを示す指標であり、病床利用率が高いことは、ベッドを効率的に運用していることを表しています。病床の機能により違いがあるため、一般、精神、感染症病床別に率を出しています。
	(精神) %	(精神) %	(精神) %		
(感染) %	(感染) %	(感染) %			
剖検率	15.6 %	7.6 %	8.9 %	年間剖検数÷年間患者死亡数	当院で死亡された患者さんの中で病理解剖がなされた割合です。病理解剖は死亡の原因や治療の効果を確かめ、今後の医療に役立てていく意義があります。
CPC（臨床病理検討会）実施件数	2.0 回	5.0 回	5.0 回	年度内の開催実績数	医療の質向上を図るために行っている、勉強会の1つであるCPC（臨床病理検討会）を開催した件数です。
クリニカルパス実施状況	60.1 %	52.3 %	55.3 %	実施率：パス適用件数÷新入院患者数	入院から退院までの治療や処置、検査、看護などのスケジュールを時系列に示したクリニカルパスの作成を通じて、わかりやすく均質で無駄のない医療の提供に努めています。
2 診療科目に関する指標					
指標項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
疾病別患者数及び平均在院日数	別紙1参照			ICD10の大分類に基づいた疾病別の件数等	世界保健機関（WHO）が設定した、国際的な分類に基づいて、診療科目ごとに取り扱った疾病数です。
3 手術に関する指標					
指標項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
手術の実績	別紙2-1参照			年間の手術実績及び診療科別代表手術件数	当院の手術実績及び診療科別の代表的な手術実績です。
内視鏡検査件数、主な処置件数	① 2,901 (1) 1,598 (2) 39 (3) 64 (4) 1,200 ② 563	① 2,973 (1) 1,582 (2) 63 (3) 42 (4) 1,286 ② 791	① 3,106 (1) 1,716 (2) 54 (3) 39 (4) 1,297 ② 772	①検査数（(1)上部内視鏡、(2)膵臓・胆管系、(3)気管支鏡、(4)下部内視鏡）、②治療数	内視鏡検査と治療の件数です。検査については、①食道、胃などの上部、②膵臓・胆管、③気管支、④大腸などの下部に種類を分けております。
4 がん医療に関する指標					
指標項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
がん登録統計		242	163	「院内がん登録」による登録件数及び東京都がん診療連携協力病院における部位別（肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん、前立腺がん）の登録数、ステージ別件数及び治療方法別件数	当院で行っている「院内がん登録」の登録実績です。当院を含め公社病院全体でがん医療に力を入れて取り組んでいます。
外来化学療法件数	569 件	382 件	325 件	外来で化学療法を実施した件数(外来化学療法加算)	抗がん剤を使用した化学療法の件数です。外来での治療は自宅での生活を続けながら治療を行うことができるため、精神的、経済的な負担低減にも寄与します。
放射線治療件数、症例数	件数 2,443 件 症例数 108 件	件数 2,517 件 症例数 115 件	件数 2,398 件 症例数 102 件	放射線治療件数、症例数 高エネルギーX線装置による通常の照射とIMRTの1回目の放射線管理料を取得した数、及び定位の患者数。（小線源治療は除く）	放射線は手術、抗がん剤とともにがん治療における重要な役割を果たしています。リニアック等の放射線治療装置を使用して、放射線治療を行った件数及び症例数です。
5 救急医療の指標					
指標項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
救急患者数（1日あたり）	35.7 人	36.4 人	35.7 人	(救急入院患者数+救急外来患者数)÷年間営業日数	救急医療は当院の重点医療のひとつであり、休日・全夜間診察事業を引き続き実施するなどし、積極的な患者受入に努めています。
救急搬送受入件数	2,009 人	1,977 人	2,697 人	救急患者のうち、来院方法が「救急車」の患者数	

クリニカルインディケーター

6 放射線及び検査に関する指標					
指標項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
緊急対応可能検査項目数及び緊急対応可能検査項目数の割合	検体 55 個 72.4 % 生理 30 個 65.2 %	検体 70 個 88.6 % 生理 47 個 80.9 %	検体 73 個 92.4 % 生理 47 個 80.9 %	院内で実施する検体検査で検査科受付後60分以内の報告、および生理検査で当日報告の可能な緊急対応可能検査項目数とその割合（緊急対応可能検査項目数÷全体検査項目数×100）	院内で実施する検査のうち、救急患者や入院患者の急変などに対応し、院内で緊急に行える検査がどのくらいあるかを表しています。
緊急検査のTAT（ターンアラウンドタイム）	0:34:12 分秒	0:31:25 分秒	0:30:07 分秒	病院で実施する生化学検査における、緊急検査依頼の検査科受付から報告確定までの平均時間	TAT（ターンアラウンドタイム）とは検体が検査科に来てから検査結果が確定するまでの時間のことです。検査結果を迅速に報告することで、医師が治療方針を早期に決定することができ、医療の質向上に寄与します。
CT、MRI、血管造影、マンモグラフィの検査人数	CT 7,010 人 MRI 4,982 人 血管造影 402 人 マンモ 586 人	CT 6,873 人 MRI 4,619 人 血管造影 419 人 マンモ 554 人	CT 7,039 人 MRI 5,186 人 血管造影 515 人 マンモ 542 人	CT、MRI、血管造影、マンモグラフィの検査患者数	検査の中でも件数の多い、CT、MRI、血管造影、マンモグラフィそれぞれの検査患者数です。
臨床検査に係る精度管理調査評価評点	日本医師会 点 96.6 日臨技 100 %	日本医師会 点 98.0 日臨技 99.5 %	日本医師会 点 99.3 日臨技 100 %	外部精度管理における日本医師会臨床検査精度管理調査の結果（評価項目修正点数）、日本臨床検査技師会精度管理調査の結果（AB評価値）	日本医師会は、総タンパク、ブドウ糖、尿酸など検体検査40以上の検査項目について、サーベイを実施した結果の項目修正点数（100点満点）です。日臨技は、検体検査、微生物、輸血、生理、病理、細胞など180以上の評価項目について、サーベイを実施した結果の望ましいとされる評価A、評価Bの件数の割合です。
放射線科医師による読影レポート数	12,300 件	11,756 件	12,750 件	放射線科医師によって作成された、CT、MRI、核医学検査にかかる読影レポート数	放射線科の医師による専門的見地から、検査結果に基づいた画像診断・助言を行っている件数です。
ME機器点検実施件数	7,807 件	10,844 件	11,056 件	ME機器（医療機器）の日常点検、定期点検の件数（臨床工学士実施分）	ME機器の使用時の故障を未然に防ぎ、検査の安全性を確保するために、使用前や使用後及び一定の期間毎に行っている点検の件数です。
7 薬剤に関する指標					
指標項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
服薬指導件数（入院・外来）	入院 9,566 件 外来 6,900 件	入院 12,280 件 外来 6,553 件	入院 15,947 件 外来 6,230 件	（入院）入院服薬指導業務指導件数 （外来）外来服薬指導業務指導件数	患者さんへの薬物療法の効果や副作用などの説明・アドバイスを通して、患者さんの薬物療法への理解を深めるとともに、より安全で効果的な薬物療法を受けられるよう薬剤師が活動した件数です。
ジェネリック使用率	50.5 %	61.5 %	66.2 %	「後発医薬品の数量」÷（「後発医薬品のある先発医薬品の数量」+「後発医薬品の数量」） ※数量とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。	当院における入院医療で使用される全薬剤のうちジェネリック（後発医薬品）の割合です。ジェネリックは開発コストが大幅に削減されているため、先発医薬品に比べると安価になるなどの特徴があります。
薬剤師による抗がん剤等のミキシング数（処方箋枚数）	うち入院 604 件 うち外来 565 件	うち入院 771 件 うち外来 382 件	うち入院 598 件 うち外来 315 件	抗がん剤ミキシング件数	薬剤師が安全キャビネットなどを使用して、抗がん剤のミキシングを行った処方箋枚数です。
8 栄養に関する指標					
指標項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
栄養指導件数（個別・集団）	個別 1,361 件 集団 76回 185 人	個別 1,333 件 集団 91回 239 人	個別 1,769 件 集団 82回 284 人	個別栄養食事指導件数、集団栄養食事指導回数及び人数	患者さんに対して、医師の指示により管理栄養士が食事療法について説明し、食生活改善の支援を行っております。個人の生活スタイルに合わせた個別指導と教室形式で行う集団指導があります。
栄養サポートチーム（NST）活動件数	回診回数 51 回 延べ人数412 人	回診回数51 回 延べ人数416 人	回診回数82 回 延べ人数583 人	栄養サポートチーム（NST）回診回数・回診延べ人数	栄養サポートチーム（NST）とは栄養管理を管理栄養士、医師、看護師など様々な医療スタッフによって支援・実施するチーム医療のことです。定期的メンバーによる回診等を行い、患者さんの状況を確認して適切な栄養療法を検討しています。
お楽しみ食提供回数	41 回	58 回	60 回	お楽しみ食提供回数（年間）	献立に祝祭日や季節感を取り入れるなど、お楽しみ食のメニューを充実させることで、患者さんへ思いのひと時を提供し、患者さんの視点に立ったサービスを提供しています。
9 看護に関する指標					
指標項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
褥瘡発生率	0.56 %	0.55 %	0.8 %	[院内褥瘡発生数÷（当月の新入院患者数+前月終日日に在患者数）]×100	褥瘡とは、長時間の圧迫などにより皮膚が循環障害を起こし傷となる、いわゆる「床ずれ」の状態をいいます。当院では、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士など様々な職種により構成される褥瘡対策チームが中心となり治療・ケアをして褥瘡発生防止に努めています。この褥瘡発生率は看護ケアの質評価の重要な指標とされています。
常勤看護師の離職率	18.4 %	20.8 %	9.3 %	常勤看護職員離職率＝当該年度総退職者数/当該年度の平均職員数×100 平均職員数＝（年度当初の在籍職員数+年度末の在籍職員数）÷2 ※常勤看護職員離職率には、新卒者の離職も含む ※離職には定年退職を含む。	看護師離職率が低いことは、病院に慣れた看護師により安定的かつ質の高い看護が提供されているとともに、看護師にとっても働きやすい環境であることを表しています。
患者・家族のケア満足度	76.6 %	80.9 %	82.0 %	患者満足度調査における入院・外来（平均）のケア満足度	入院、外来の患者さんに当院の看護師の対応についてアンケートを行った際に、「十分」、「ほぼ十分」と答えた方の割合です。今後も高いケア満足度を目指して医療サービスの向上を図っていきます。

クリニカルインディケーター

10 医療安全に関する指標					
指標項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
転倒・転落率	0.31 %	0.33 %	0.28 %	インシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数÷期間中の入院患者数×100	入院している患者さんの中には年齢や病気の影響により、転倒したり、ベッドなどから転落したりする可能性が高い方もいます。転倒・転落の原因や要因について分析等を行い、予防策を講じて、転倒・転落を防いでいます。
医療安全研修 情報セキュリティ研修	医療安全 7回 情報セキュリティ 6回	医療安全 9回 情報セキュリティ 6回	医療安全 9回 情報セキュリティ 6回	年度内の開催実績数	職員の医療安全意識の向上を図るとともに、病院全体の医療安全を向上させることを目的とし、医療安全研修や情報セキュリティに関する研修を実施しています。
11 地域連携に関する指標					
指標項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
紹介・逆紹介患者率	紹介率 61.3 % 逆紹介率 66.9 %	紹介率 55.8 % 逆紹介率 71.1 %	紹介率 56.7 % 逆紹介率 81.4 %	地域医療支援病院の紹介率、逆紹介率 ・紹介率 (紹介患者数+救急患者数/初診患者数)×100 ・逆紹介率 (逆紹介患者数/初診患者数)×100	他の病院または診療所から紹介状により紹介された人の割合(紹介率)及び当院から他の病院または診療所に紹介した人の割合(逆紹介率)です。当院は地域医療支援病院に指定されており、そのための要件の1つにもなっています。今後も地域で信頼される病院作りに努めていきます。
地域連携バス実施数	22 人 1 回	6 人 1 回	10 人 2 回	地域連携バスごとの使用患者数	患者さんの病気の回復過程に応じて、急性期・回復期・維持期・在宅療養における治療と必要な情報が切れ目なく推進するための診療計画を作成し、治療を受けるすべての医療機関で共有して用いています。診療にあたる複数の医療機関が、役割分担を含め、あらかじめ診療内容を患者に提示・説明することにより、患者さんが安心して医療を受けることができるよう努めています。
医療従事者等研修会開催数、 広報誌発行部数	研修会 20 回 広報誌 13,500部	研修会 21 回 広報誌 20,000部	研修会 20 回 広報誌 21,800部	医療従事者を対象とした研修会等の開催件数、 広報誌(病院だより、医師アポイントメント)発行部数	地域の中核病院として、地域の医療機関への情報提供等を積極的に行っています。
連携医数、高額医療機器の共同利用件数	859 人 2,228 件	750 人 2,244 件	744 人 2,471 件	連携医数、主な高額医療機器(MRI、CT、FII)の共同利用件数	連携医として登録をしている地域の医師、歯科医師の数及びMRI、CT、FIIなどの高額医療機器を連携医と共同で利用した件数です。地域医療支援病院として地域との連携強化を引き続き図っていきます。
12 医療サービスに関する指標					
指標項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
患者満足度	入院 78.9 % 外来 72.1 %	入院 85.7 % 外来 73.4 %	入院 86.0 % 外来 76.3 %	「あなたは全体としてこの病院に満足していますか。」という問いに対し「満足」「ほぼ満足」と回答した割合(入院・外来)	当院が提供する医療サービスに対して、患者さんがどのように感じているかを把握し、その結果を反映していくことで、医療サービスの一層の充実を図るために実施しています。引き続き、高い患者満足度を維持・向上できるように努めていきます。
13 医師・看護師・コメディカルの資格等に関する指標					
指標項目	平成24年度実績	平成25年度実績	平成26年度実績	定義、指標計算方法等	説明コメント
資格認定医師、専門医師数	/	/	別紙4のとおり	調査時点の人数(常勤職員+月16日以上勤務非常勤)	当院には各学会等で認定された、高度な知識や技術、経験を持った職員がいます。より質の高い医療サービス提供のため、多くの職員が認定を取得していくよう、人材の育成に取り組んでいます。
認定看護師数				調査時点の人数(常勤職員)	
コメディカル部門の認定者・専門者数(放射線、検査、薬剤、栄養)				調査時点の人数(常勤職員)	

1 疾病別患者数

単位:人

ICD10分類(大分類)		平成24年度	平成25年度	平成26年度
全体		5,409	5,572	6,010
A00-B99	感染症および寄生虫症	163	141	162
C00-D48	新生物	1,088	1,136	1,003
D50-D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	27	24	29
E00-E90	内分泌,栄養および代謝疾患	144	156	177
F00-F99	精神および行動の障害	306	250	402
G00-G99	神経系の疾患	111	124	150
H00-H59	眼および付属器の疾患	678	663	666
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	34	24	43
I00-I99	循環器系の疾患	594	584	630
J00-J99	呼吸器系の疾患	285	361	390
K00-K93	消化器系の疾患	575	612	700
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	21	20	23
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	223	248	234
N00-N99	尿路性器系の疾患	418	450	579
O00-O99	妊娠,分娩および産じょく<褥>	1	1	2
P00-P96	周産期に発生した病態	—	—	—
Q00-Q99	先天奇形,変形および染色体異常	10	7	13
R00-R99	症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	68	89	103
S00-T98	損傷,中毒およびその他の外因の影響	584	607	616
V00-Y98	傷病および死亡の外因	—	—	—
Z00-Z99	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	79	75	88

2 疾患別平均在院日数

単位:日 単位:日

ICD10分類(大分類)		平成24年度	平成25年度	平成26年度
全体		17	16	14
A00-B99	感染症および寄生虫症	18	18	20
C00-D48	新生物	16	15	14
D50-D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	14	21	15
E00-E90	内分泌,栄養および代謝疾患	23	18	14
F00-F99	精神および行動の障害	2	2	2
G00-G99	神経系の疾患	17	23	18
H00-H59	眼および付属器の疾患	4	4	3
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	8	5	5
I00-I99	循環器系の疾患	23	21	18
J00-J99	呼吸器系の疾患	22	23	22
K00-K93	消化器系の疾患	12	12	13
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	26	22	28
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	35	30	25
N00-N99	尿路性器系の疾患	18	17	16
O00-O99	妊娠,分娩および産じょく<褥>	10	2	6
P00-P96	周産期に発生した病態	—	—	—
Q00-Q99	先天奇形,変形および染色体異常	15	23	18
R00-R99	症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13	14	15
S00-T98	損傷,中毒およびその他の外因の影響	25	24	20
V00-Y98	傷病および死亡の外因	—	—	—
Z00-Z99	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	18	12	10

手術件数及び診療科別内訳(手術室)平成24年～平成26年実績

区分	平成24年	平成25年	平成26年
合計	2,228	2,228	2,418
外科	448	332	325
血管外科	103	192	231
脳神経外科	35	29	20
婦人科	256	301	328
整形外科	348	360	406
泌尿器科	95	125	109
移植外科	57	40	38
眼科	756	727	828
耳鼻科	75	72	70
歯科口腔外科	37	33	33
腎内科	15	6	20
麻酔科	3	1	1
形成外科	0	10	9

診療科別主な疾患及び診療(手術等)実績(平成26年実績)

消化器内科		単位:件
平成26年度		
肝細胞癌		
ラジオ波焼灼療法、肝動脈塞栓術		26
大腸ポリープ		
内視鏡的粘膜切除術		113
総胆管結石性胆管炎		
内視鏡的胆道碎石術		29

呼吸器内科		単位:件
平成26年度		
睡眠時無呼吸症候群		
入院加療		11
外来通院		34
慢性閉塞性肺疾患		
入院での呼吸リハビリテーション		7
肺癌		
化学療法		70
喀血に対する選択的気管支動脈閉塞術(BAE)		4
気管支鏡検査		39
在宅酸素使用患者数		165

循環器内科		単位:件
平成26年度		
発作性・持続性心房細動		
経皮的カテーテル心筋焼灼術		53
24時間心電図(ホルター心電図)		562
加算平均心電図		80
狭心症		
経皮的冠動脈形成術		38
冠動脈CT		71
心臓核医学検査		79
除脈・意識喪失発作		
ペースメーカー移植術		21

内分泌代謝科		単位:件
平成26年度		
糖尿病		
外来患者		600
教育入院		80
甲状腺疾患		
慢性甲状腺炎		1
バセドウ病		26
骨・カルシウム代謝疾患		
骨粗鬆症		26
原発性副甲状腺機能亢進症		3

神経内科		単位:件
平成26年度		
神経疾患入院		
脳卒中:脳梗塞・脳出血		41
パーキンソン病/パーキンソン症候群		31
筋萎縮性側索硬化症		3
重症筋無力症		3
末梢神経障害		9
認知症		4
脳炎・脊髄炎・髄膜炎		7
神経内科特殊検査		
針筋電図・末梢神経伝導検査		62
経頭蓋ドプラ検査		10

腎内科		単位:件
平成26年度		
IgA腎症		
扁桃パルス		58
腎生検		38
腎移植		
腎生検		104
血漿		25
腎移植		20
透析療法		
導入		38
カテーテル挿入		230

血管外科		単位:件
平成26年度		
血管アクセス関連手術		
動静脈吻合による内シャント造設(静脈転位)		90(30)
人工血管移植内シャント造設		19
シャントPTA		39
動脈血行再建		
バイパス術(下腿足部動脈へのバイパス)		18(9)
血管内治療		24
動脈瘤		
腹部大動脈瘤切除(腎動脈上)		3(1)

一般外科		単位:件
平成26年度		
大腸癌		
腹腔鏡手術		19
開腹手術		25
その他		5
鼠径ヘルニア		
腹腔鏡手術		28
従来法手術		26

肝胆膵外科		平成26年度
乳癌		
乳癌の手術療法		24
乳癌の抗がん剤治療		32
エコー下細胞診&針生検		157
肝胆膵外科		
肝臓、胆嚢・胆管、膵臓疾患の手術療法		18
肝胆膵悪性腫瘍に対する抗がん剤治療		22
胆石症・胆嚢炎		
腹腔鏡下手術		29
開腹手術		5
整形外科		
平成26年度		
変形性股関節症、膝関節症		
低侵襲人工股関節置換術(MISTHA)		10
低侵襲人工膝関節置換術(MISTKA)		15
膝前十字靭帯損傷		
前十字靭帯再建術		57
頸椎腰部脊椎管狭窄症		
頸部、腰部椎弓切除術		34
脳卒中センター		
平成26年度		
発症1週間以内の脳卒中入院症例数		
脳梗塞		111
脳出血		30
くも膜下出血		3
急性期脳梗塞治療		
t-PA静注療法		3
脳血管内手術		2
脳神経外科		
平成26年度		
脳動脈瘤		
開頭クリッピング術		1
脳血管内コイル塞栓術		2
脳血管内手術		
内頸動脈ステント留置術(CAS)		10
脳梗塞血栓除去術または血管拡張術		4
脳血管内コイル塞栓術		3
慢性硬膜下血腫		
1泊2日で退院可能な経皮的血腫除去術		9

泌尿器科		平成26年度
膀胱腫瘍		
経尿道的膀胱腫瘍切除術		20
腎腫瘍		
後腹膜鏡下腎摘出術		5
開腹腎摘出術		3
開腹腎部分切除術		1
前立腺癌		
経直腸の前立腺生検		34

移植外科		平成26年度
慢性腎不全		
生体腎移植術(レシピエント)		14
生体腎移植術(ドナー)		14
移植腎生検		88

婦人科		平成26年度
腹腔鏡下手術		
腹腔鏡下子宮筋腫核出手術		33
腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出手術		26
腹腔鏡下子宮内膜症性チョコレート嚢腫摘出手術		8
子宮鏡下手術		
子宮鏡下子宮筋腫摘出手術		60
子宮鏡下子宮内膜ポリープ摘出手術		87

眼科		平成26年度
白内障手術(水晶体再建術)		
網膜レーザー光凝固術		628
網膜静脈閉塞症に対する薬液硝子体内注射		69
		43

耳鼻咽喉科		平成26年度
病巣扁桃		
口蓋扁桃摘出術		53
耳管開放症		
治療		14
めまい		
入院		25

●院内がん登録とは

「がん登録」とは、がんの罹患や転帰その他の状況を登録・把握し、分析する仕組みであり、がん罹患数・罹患率、がん生存率、治療効果の把握など、がん対策の基本となるデータの把握のために必要なものです。この調査を複数の病院が同じ方法で行うことで、その情報を比べることができるようになり、病院ごとの特徴や問題点が明らかになるものと期待されています。

●登録対象

登録対象は新規の診断症例または他院で診断された初診症例であり、入院患者および外来患者を対象としています。1腫瘍・1登録の原則に基づき同一患者に別のがん腫と判断されるがんが生じた場合には腫瘍毎の登録（複数登録）となります。

●実績(平成25年実績、26年登録分)

1 全登録数及び東京都がん診療連携協力病院における部位別件数(再掲)【単位：件】

区分	件数
全登録数	163
肺がん	9
胃がん	25
(再掲) 大腸がん	61
肝がん	4
乳がん	42
前立腺がん	18

2 東京都がん診療連携協力病院における6部位の治療前UICCステージ割合及び件数【単位：件、％】

区分	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
肺がん		1	1		3	4	9
	0%	11%	11%	0%	33%	44%	
胃がん		12	2	4	4	3	25
	0%	48%	8%	16%	16%	12%	
大腸がん	3	21	8	6	8	15	61
	6%	35%	12%	12%	16%	20%	
肝がん		1	1			2	4
	0%	25%	25%	0%	0%	50%	
乳がん	1	9	8	1		23	42
	2%	21%	19%	2%	0%	55%	
前立腺がん		8	4	2	2	2	18
	0%	44%	22%	11%	11%	11%	

上段：件数（件）、下段：割合（％）

3 東京都がん診療連携協力病院における6部位の治療別割合別治療方法割合及び件数【単位：件、％】

区分	手術のみ	内視鏡のみ	手術+内視鏡	放射線治療のみ	薬物療法のみ	放射線+薬物	薬物+その他	手術/内視鏡+放射線	手術/内視鏡+薬物	手術/内視鏡+その他	手術/内視鏡+放射線+薬物	他の組み合わせ	※初回治療なし	合計
肺がん				1	1	2							5	9
	0%	0%	0%	11%	11%	22%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	56%	
胃がん	13								6				6	25
	52%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	24%	0%	0%	0%	24%	
大腸がん	31								11			7	12	61
	51%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	18%	0%	0%	11%	20%	
肝がん	1												3	4
	25%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	75%	
乳がん								1	1		7	2	31	42
	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	2%	2%	0%	17%	5%	74%	
前立腺がん												4	14	18
	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	22%	78%	

上段：件数（件）、下段：割合（％）

※ 初回治療とは、治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、以下のような場合、「初回治療なし」でカウントする。

- ・当初経過観察が計画されて、病状が悪化したために治療が行われた場合
- ・他施設において、初回治療が計画され、他施設において治療開始後にその一部を当院で施行する場合
- ・腫瘍に影響のない鎮痛剤や制吐剤などの治療
- ・診断後4か月以上経過して、初回治療が開始された場合
- ・初回治療として計画されていても、他院で施行したもの

医師部門の専門者数一覧	
資格名	人数
整形外科専門医	5
麻酔科専門医	1
眼科専門医	2
産婦人科専門医	2
耳鼻咽喉科専門医	1
泌尿器科専門医	1
病理専門医	1
総合内科専門医	6
外科専門医	8
糖尿病専門医	2
肝臓専門医	3
循環器専門医	3
消化器病専門医	7
腎臓専門医	6
内分泌代謝科専門医	2
消化器外科専門医	4
透析専門医	8
脳神経外科専門医	3
リハビリテーション科専門医	2
心臓血管外科専門医	1
消化器内視鏡専門医	8
神経内科専門医	2
アレルギー専門医	1
大腸肛門病専門医	2
脳血管内治療専門医	1
リウマチ専門医	1
アレルギー専門医	1
口腔外科専門医	1

看護部門の認定者・専門者数一覧	
資格名	人数
皮膚・排泄ケア認定看護師	1
緩和ケア認定看護師	1
がん化学療法看護認定看護師	1
がん性疼痛看護認定看護師	1
感染管理認定看護師	1
糖尿病看護認定看護師	1
透析看護認定看護師	1
栄養サポートチーム(NST)専門療法士	4
日本糖尿病療養指導士	4
透析技術認定士	7
ACLSインストラクターコース	1
BLSインストラクターコース	2
呼吸療法認定士	3
第1種内視鏡技師	3

コメディカル部門の認定者・専門者数一覧		
所属	資格名	人数
薬剤科	糖尿病療養指導士	5
	栄養サポートチーム(NST)専門療法士	5
	認定実務実習指導薬剤師	4
診療放射線科	第1種放射線取扱主任者	2
	第2種放射線取扱主任者	3
	放射線治療専門放射線技師	1
	放射線治療品質管理士	1
	磁気共鳴専門技術者	1
	X線CT認定技師	3
	救急撮影認定技師	2
	検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	4
	放射線管理士	4
	放射線機器管理士	4
臨床実習指導教員	3	

コメディカル部門の認定者・専門者数一覧		
所属	資格名	人数
検査科 臨床検査技師	細胞検査士	2
	国際細胞検査士	1
	認定輸血検査技師	1
	認定臨床微生物検査技師	1
	感染制御認定臨床微生物検査技師	1
	緊急臨床検査士	1
	超音波検査士 (消化器領域、循環器領域、泌尿器領域、体表臓器領域、産婦人科領域、血管領域)	消 2 循 1 体 1 婦 1
	血管診療技師	1
	糖尿病療養指導士	1
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任	2
検査科 臨床工学技士	透析技術認定士	4
	3学会合同呼吸療法認定士	3
	第2種ME技術者	8
栄養科	日本糖尿病療養指導士	2
	病態栄養認定管理栄養士 栄養サポートチーム(NST)専門療法士	1 3